

四季を感じて
生きていく選択。
田舎暮らしも
カフェ立ち上げも
楽しむ。



りきたけ まさと
力武 柁人 さん(20代)
あやか
彩花 さん(20代)

<会津坂下町>
会社員・地域おこし協力隊
(就業)(会津坂下町)
2022年 Iターン

会津坂下町に夫婦で移住

『会津坂下町は会津盆地の真ん中から西側に位置し、阿賀川近くの平地から山間部まで標高差がある町です。その昔は越後街道で栄えており、今でも旧街道添いには醤油や酒蔵、商店、飲食店が並び賑わいの名残が垣間見れます。山間部にある杉山地区はリンゴの栽培が盛んであり、その杉山地区のリンゴ農家の支援と古民家カフェのオープンのため地域おこし協力隊に採用になったのが力武彩花さんです。力武柁人さんはフルリモート勤務という今風の働き方。このご夫婦が会津坂下町に移住したきっかけや住んでみての感想などを、これから住む予定の古民家にお伺いして取材しました。』

取材日 2022年10月29日

移住のきっかけと仕事のこと

<移住のきっかけ>

私たちは宮崎県の会社で出会い、結婚しました。私(柁人さん)が9歳まで喜多方市山都町に住んでいたこと、妻が北海道生まれで九州の気候に慣れなかったこともあり、いつかは東北か北海道に住みたいねと話していました。また、何度もバイクで旅を共にした友人とも田舎の一軒家でのガレージライフを夢見ていました。丁度そのタイミングで、会津坂下町で地域おこし協力隊の募集を見つけました。仕事内容が杉山地区のリンゴ農家さんのコミュニティ作りと古民家カフェのオープンということから、妻が興味を持ち応募しました。応募後、3人で会津旅行に訪れたのですが、会津の原風景やそこで暮らす人々の人となりに触れ、3人とも見事に会津の虜になりました。

九州に戻ってから早速仕事を探し、私は会津若松市のIT企業、妻が会津坂下町の地域おこし協力隊、友人は喜多方市の地域おこし協力隊に受かり、3人で移住してきました。3人で来るのは珍しいとよく言われます。

<彩花さんの仕事>

2022年4月に私(彩花さん)が杉山に来て、最初の活動はリンゴ農家さんで摘果の研修でした。農業に関わるのは初めてだったため、分からないことばかりでしたが、研修先の皆さんがとても優しく、楽しく勉強させてもらいました。杉山地区には、10軒ほどのリンゴ農家さん



がいますので、将来オープンさせる予定のカフェでは杉山のリンゴを活かしたメニューにしていきたいです。私ともう一人の女性協力隊がこのプロジェクトのメンバーなのですが、町のレストランで交互に修業させてもらって、商品開発のアドバイスや接客の勉強をさせてもらっています。今は古民家カフェの方向性や改装計画などを立てるためにどのようなお店にしようかを考えています。杉山地区の魅力が伝わって、様々な人との交流が生まれるような空間にしたいと思っています。

杉山地区と会津坂下町の魅力

<杉山地区の魅力>

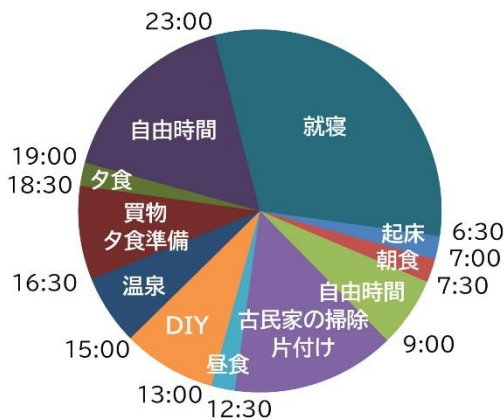
妻と一緒に杉山地区に通ううちに、知り合った方の実家を貸してもらえることになりました。築150年を超える古民家なのですが、大切に住んでいたことがわかるとても素敵なお家です。持ち主の方がとても親切なので安心して借りられますし、私たちが住んでもからも綺麗に管理していきたいと考えています。

杉山地区ではリンゴ畑の向こうに雪をかぶった飯豊山がキレイに見えたり、木々の色が移り変わる様子が日に日に分かったり、季節の花がちゃんと咲いたり、四季を感じられるところが好きです。



古民家の猫ともすっかり仲良し

ある一日のスケジュール



あと、住む予定の古民家からの風景もとてもよく、私(柾人さん)の仕事がフルリモートワークなので窓からの風景を眺めながら仕事ができることを今から楽しみにしています。

<会津坂下町の魅力>

会津坂下町はスーパーにホームセンター、病院など生活インフラが整っているため、日常生活で特に不便を感じたことはありません。また土地柄、農業をやっている人が多く、新鮮な地場産野菜をスーパーや直売所で手軽に購入できるのも嬉しいです。他にも地元の歴史ある酒造蔵や味噌屋、醤油屋も健在で、発酵食品が日常的に楽しめるのも魅力だと思っています。

ちょっとしたことですが、町を歩いたりドライブをしていると会津盆地ならではの田園風景や飯豊連峰、磐梯山を眺めることができ、気分が上がります。

また、伝統を大切にしているのも町の特徴だと思います。特にお祭りは準備時期に入ると毎晩のように町の人たちが集会所に集まっていると聞きます。いつかはその輪に入りたいと思っています。

住んでみてですが、会津坂下町は「田舎暮らしはしたいけど、便利さはあってほしい」という人にお勧めです。正直、私たちが最初は会津坂下町を移住先として考えていませんでしたが、いざ住んでみたら最高の町でした！

(ぶっちゃけ休日は町からほぼ出ていません！(笑))

力武さんの行動歴

柾人さん 喜多方市生まれ ⇒ 佐賀県(転校) ⇒ 長崎県(高専) ⇒ 宮崎県(就職) ⇒ 会津坂下町へ
彩花さん 北海道生まれ ⇒ 北海道(高専) ⇒ 宮崎県(就職) ⇒ 会津坂下町へ

移住を検討している方にアドバイス

移住先では最初は賃貸に住むことをお勧めします。地域の方との触れ合いの中で思わぬ出会いに巡り合えるかも、...



収穫時期のリンゴ畑にて

会津坂下町について

現住人口 14,526人 男性/6,987人 女性/7,539人 令和4年4月1日現在

面積 町域 91.59平方キロメートル

標高 177.6m(会津坂下町役場)

最寄駅 JR只見線「会津坂下駅」

最寄IC 磐越自動車道「会津坂下IC」

保・幼稚園 認可保育所 4ヶ所

小学校数 公立 2校

中学校数 公立 1校

高校数 公立 1校

病院数 病院 1ヶ所 診療所 6ヶ所 歯科 8ヶ所

町の特徴 会津坂下町、初市で行われる大俵引きに代表するように米処である。米に関連した酒蔵、麴屋も多くあり、商業の町としての顔も持つ。馬肉、そば、冷やしラーメンも有名である。阿賀川(通称:大川)を挟んで隣村になる湯川村と共同で運営している道の駅あいづ湯川・会津坂下があり、平日でも賑わっている。

移住サポート窓口 会津坂下町移住定住相談窓口 会津坂下町役場(政策財務課)
会津坂下町ホームページ <https://www.town.aizubange.fukushima.jp>
電話:iju@town.aizubange.fukushima.jp
メール:0242-84-1504

